

市教委だより

Kawagoe City Board of Education News

平成27年10月1日(木)、2日(金)に初雁中学校の生徒たちが、時の鐘、川越城本丸御殿、菓子屋横丁など、市内10か所の観光拠点で、観光案内をしました。

写真は蔵造り通りを訪れた観光客の方に、お手製の案内板を使って観光案内をしている様子です。(⇒2ページにこの取組について掲載していますので、ご覧ください。)



「地域」の魅力を「発信」!
「川越観光サポート」



教員が主体的に学ぶ
「教育フェスタKAWAGOE」

平成27年8月3日(月)、川越市立教育センターで、第1回教育フェスタKAWAGOEが開催されました。「インタラクティブ(双方向)」をテーマに、23講座が設けられ約450人の教員が参加しました。

優れた実践の発信や模擬授業、実験や体験など、発表者も参加者も積極的に関わり合いながら、より深い学びの場を目指して真剣に取り組みました。

「この学びを子どもたちのために生かしたい。」そんな熱い思いに溢れた研修会となりました。

- ◆川越観光サポート・学校給食センター見学会……………2
- ◆オールマイティーチャーター配置事業・小学生科学体験事業……3
- ◆フォトニュース……………4
- ◆知っ得!文化財……………5
- ◆教育相談Q&A・育英資金借り入れ申し込み案内…………6
- ◆子どもが参加できる各種講座・いじめ撲滅強調月間……7
- ◆子どもサポート委員会!・給食で使用する自慢の川越産!!……8

川越市マスコットキャラクター
ときも



初雁中学校 川越観光サポーター「地域」と「発信」をテーマに



10年ほど前から、初雁中学校では総合的な学習の時間「初雁タイム」において、3年生の生徒が校区内の観光拠点で川越を訪れた観光客に観光案内をしています。

取組内容

（1年）

○「川越について知ろう」

- ・博物館を訪れて、川越の歴史や文化について学ぶ。
- ・川越の「キャッチコピー」を考えてポスターを作成する。

する。

- ・観光サポーターにおいて使用する資料を作成する。パンフレット、案内板等。

○「初雁タイム」では、「地域」と「発信」をテーマに、全学年を貫く指導計画を立てています。

- ・シルバークエストさんに観光地を案内してもらい、観光客の気持ちを知る。

- ・旧市街の観光地で、観光客に対して実際に観光案内を行う。

○「川越の街並みを知ろう」

- ・シルバークエストさんの案内で、市内の観光地の街並みについて、知識を深める。

今年度の「川越観光サポーター」が、10月1日（木）、2日（金）に、時の鐘、川越城本丸御殿、菓子屋横丁など、市内10か所の観光拠点で行われました。

自分たちの育った地域について知り、地域に関心をもち、それを他の人に伝えることによって、言語活動を充実させることを目的としています。

○「比較文化とコミュニケーション」

- ・修学旅行において川越と京都の街並みや文化について比較し、知識を深める。

生徒たちは訪れた観光客に積極的に声をかけ、この日のために作成した案内板やパンフレットを使って、観光案内をしました。説明の中にクイズを盛り込んだり、聞いている人がメモをとれるように間をとったり、身振り手振りを交えたりと、各自、工夫して案内をしていました。

○「川越の文化を伝達しよう」

- ・シルバークエストさんの指導により、観光案内の仕方を学習

観光客の方々も、生徒たちが作成したパンフレットを手に、とてもよくわかりました、と笑顔で応えてくれました。



小学生に時の鐘のクイズ！正解できるかな？小学生のみんなも楽しく学んでくれました。

（3年）

○「川越の文化を伝達しよう」

- ・シルバークエストさんの指導により、観光案内の仕方を学習

観光客の方々も、生徒たちが作成したパンフレットを手に、とてもよくわかりました、と笑顔で応えてくれました。

大規模改造工事

夏休み期間を中心に、老朽化した学校施設を改修するため、牛子小学校と大東中学校で大規模改造工事を実施しました。

主な改修内容として、校舎外壁の改修、壁の塗り替えや天井の張り替え、ロッカーなどの家具改修となっております。また、トイレについては、便器の洋式化や床の乾式化などを中心に改修を行いました。

児童生徒が安全で安心かつ快適に学校生活を送れるように、今後も教育環境の整備・充実を図ってまいります。



牛子小学校トイレ



牛子小学校外観

学校給食センター見学会

「食育クイズ」に挑戦



配缶体験コーナー

平成27年8月20日（木）、川越市立菅間学校給食センターにて「学校給食センター見学会」が開催されました。普段は入ることのできない調理場に年1回、この日だけ入ることができます。8回目となるこのイベント、今年は昨年を99人上回る836人の来場がありました。

オールマイティーチャーター配置事業

Part 3

本事業は、各学校の課題に応じて、子どもたち一人一人に応じたきめ細かな教育活動を推進するため、教員（オールマイティーチャーター）を川越市独自に採用し、配置するものです。川越市では、他市に先駆けた事業として実施して、今年で3年目。現在、小・中学校合わせて13校に14名を配置しています。

古谷小学校の高橋 等校長に活用状況を伺いました

Q 今年度、古谷小学校が取り組むべき学校課題とは何ですか。

A 「言葉」と「体験」を重視した指導を工夫し、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、主体的・協働的な学びを重視して、豊かな心を育む教育活動を推進することを重点としています。そのためには、学習規律を確立し、より良い学習環境を整えることが不可欠と考えます。

Q オールマイティーチャーター配置により、どのような効果があるとお考えですか。

A 本校6年生は、国の基準によると2学級にあたる児童数ですが、教員（オールマイティーチャーター）1名の増員により、1学級増の3学級の少人数学級編制を行っています。このことにより、1学級あたりの児童数が少なくなり、担任によるきめ細かな指導を常に行うことができます。



「一辺が4cm×6cmの紙を何枚か敷き詰めて正方形を作りましたよ」の課題を、2人組で試行錯誤して考えている様子です。



このコースでは児童8人に対して、少人数指導を行っています。

Q オールマイティーチャーターをどのように活用していますか。

A 少人数学級編制に加え、算数科で、習熟度（理解度や学習の進み具合）に応じて1学級を2コースや、3学級を4コースに分け、少人数指導を行っています。

Q オールマイティーチャーター配置により、実際にどのような効果がありましたか。

A 児童の学習状況に応じた丁寧な指導により、分かりやすい授業を展開することができ、算数の授業を楽しみにしている子どもたちが増えました。さらに、授業に前向きになり、落ち着いた意欲的な学習態度を見せるようになりました。

Q 今後のオールマイティーチャーター配置事業に期待することは。

A 本校では、少人数学級編制と少人数指導を併せて行うことにより、落ち着いた学習に臨む姿勢が身につく、学力向上が期待できます。今後、更に多くの学校に配置できるようオールマイティーチャーター配置事業の拡充を期待しています。

小学生科学体験事業

平成27年7月21（火）、24日（金）、25日（土）に小学生科学体験事業が実施され、川越市内32校の小学校6年生78名が参加しました。

本事業では、科学に関する講演や実験、最先端の施設等での見学や実習をおして、科学に対する興味・関心を高め、知的好奇心や探究心を深めることを目的としています。

初日は、「判らないことだらけ 深い海の謎」という演題で海洋研究開発機構の柴田桂先生にご講演いただきました。

2日目は、科学体験指導員による実験・観察実習活動、3日目は日本科学未来館で施設見学および体験学習を行いました。班員と協力し合いながら実験する姿や、目を輝かせながら積極的に体験活動を行う子ども達の姿がたいへん印象的でした。参加児童は、各校において報告活動を実施して、3日間の体験で学んだことを他の児童にも広めます。



7.24 実験・観察実習



7.25 日本科学未来館



開館25周年記念特別展 開催中 「小堀遠州と川越藩主 - 遠州と酒井忠勝の交流を中心に -」 10月10日(土)~11月15日(日)

市立博物館では、開館25周年という節目の年を記念し、遠州茶道宗家の協力を得て、江戸時代初期に川越藩主をつとめた酒井忠勝、堀田正盛、松平信綱の三名と小堀遠州との茶の湯を通して交流に焦点をあてた特別展を開催中です。

この特別展では、あまり展示されない小堀遠州像(京都市孤篷庵蔵)や油滴天目茶碗 添芙蓉台(京都市北村美術館蔵)等、遠州ゆかりの貴重な資料も出品しています。



小堀遠州像
(京都市孤篷庵蔵)

川越市立博物館 TEL 222-5399

第42回全日本中学校陸上競技選手権大会 男子1500M

砂中学校3年 宮坂 大器くん 優勝！

平成27年8月21日(金)、第42回全日本中学校陸上競技選手権大会が、札幌市厚別公園陸上競技場で開催され、男子1500Mで砂中学校の宮坂大器くんが見事優勝しました。

7番、紫色のユニフォームの宮坂くんは、序盤から中盤は先頭に離されないように中国にひかえ、最後の1周に入ると、前方の選手を次々と抜いて1位でゴールしました。

宮坂くんに伺いました

Q 優勝おめでとうございます。1位でゴールしたとき、どんな気持ちでしたか。優勝したという実感はいつ頃湧いてきましたか。

A 後ろから誰かが追い抜いてくるのではないかと、最後まで不安でした。ゴール直後は実感がなく、表彰台に上がり、金メダルをいただいたときに実感が湧いてきました。

Q 陸上をやっている大変だったことは何ですか。

A 陸上の経験がなく知らないことがたくさんありましたが、練習を引張ってくれる先輩のおかげで、つらい練習を乗り越えることができました。練習をする時徐々に記録が伸び、励みになりました。また、1年生のとき、怪我をしてしまいました。それ以来、体のケアを大切に、他の部員にも伝えています。



川合市長を表敬訪問しました

Q 全国大会で優勝した後、自分の中で変わったこと、以前より成長したなど感じることはありませんか？

A 普段の練習での声掛け、練習以外でも挨拶を心がけるようになりました。

顧問の先生に伺いました

Q 全国大会でどんなふうにレースを展開するか、先生から宮坂くんへ事前にアドバイスしたことはありませんか？

A レース展開については自分の力を発揮できるように、宮坂くん本人が考えました。私は陸上経験がないのですが、一生懸命取り組み姿をみて、力になりたい、応援したいと思いました。

フォトニュース



川越から東北の子どもたちへ メッセージカードを送ろう

東日本大震災発生から4年が経過しました。

市内の児童生徒たちが、東北の被災地の子どもたちを応援しようと、手作りのカードやしおりにメッセージを書いて届ける取組（「東日本被災地の人達に励ましカードを届ける巡回展」平成27年度川越市提案型協働事業補助金採択事業）に参加しています。

このカードとしおりは11月にウエスタ川越で開催される作品巡回展に展示され、その後、東北の被災地の子どもたちへ届けられます。



川越小学校でのカード作成の様子

博物館 夏休み子ども体験

博物館では、年間を通して、さまざまな子ども体験教室を実施しています。夏休みに行われた教室の一部をご紹介します。

「ミニ弥生土器を作ろう！」



博物館職員が弥生土器の歴史や作り方の話をしました。

参加者全員が輪積みの作業を行い、きれいな弥生土器が焼き上がりました。

「探検！となりのまちの博物館」



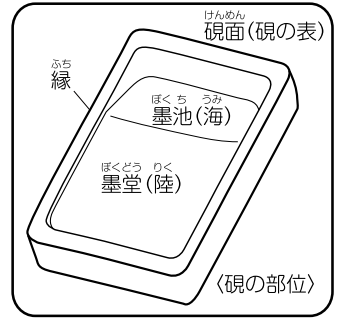
富士見市立難波田城公園、彩湖自然学習センター、戸田市立郷土博物館を見学しました。

写真はセンター内の水族館を見学している様子です。

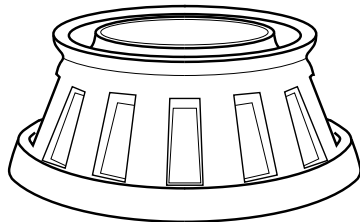
現代はさまざまな文房具があるため、使う機会が少なくなりましたが、昔は「硯」で墨を磨り、筆で文字を書いていました。今回は遺跡で見つかる「硯」の歴史をお話します。

☆硯はいつから日本にあるの?

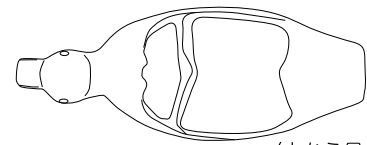
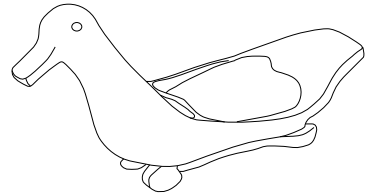
日本では飛鳥時代頃(7世紀頃)から、主に役所やお寺で硯が使われ始めました。当時の硯は粘土を焼いて作られ、円面硯(硯面が丸いもの)、風字硯(硯面の形が「風」の字に似ているもの)、形象硯(動物などをかたどったもの)など、さまざまな形のものがありました。



円面硯の破片 (龍光遺跡出土)



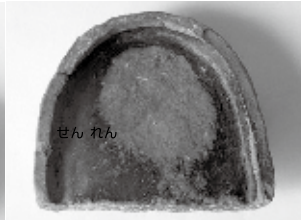
↑円面硯 (復元図)



↑鳥形硯 (形象硯の一種)
奈良県の平城京跡などで確認されています。

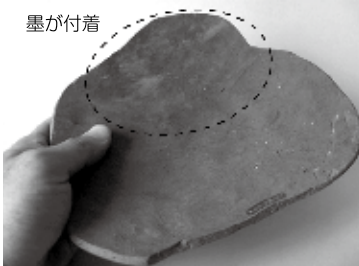


風字硯 (山城上遺跡出土)



↑上から見た風字硯
「風」の字に見えるかな?

風



転用の破片を転用した硯

☆代用品の硯

左の写真は、硬く焼き締まった甕の破片をリサイクルした硯(甕転用硯)です。破片の形を持ちやすく削り、内面は墨が付着しやすくなっています。使っていた硯が壊れたのか、あるいは硯の数が足りなかったのか、正式な硯の代用品として使用されていたのでしょうか。

☆石製の硯はいつから使われたの?

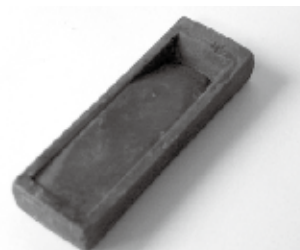
平安時代頃(11世紀頃)になると、石製の硯が使用されるようになります。写真左は河越館跡(上戸)から出土した室町時代頃の硯です。ごつごつした石の形が残る武骨な姿ですが、今の硯に近い、長方形になってきました。

写真右は弁天南遺跡(仙波町)から出土した、江戸時代頃の硯です。今の硯とほとんど同じ形をしています。

このように、硯は文字を書く際の必需品として昔から日本人に愛用され、時代とともに形や素材が変化してきたのです。



室町時代頃の石製硯 (河越館跡出土)



江戸時代頃の石製硯 (弁天南遺跡出土)

教育相談Q&A

◆集中力が続かず、落ち着きにかける小学二年生

【Q】小学二年生の息子をもつ母親です。息子は気が散りやすく、集中して物事に取り組むことができません。授業中も、勝手に出歩いてしまっているそうです。家でもよく言い聞かせているのですが、なかなか改善しません。どうしたらよいのでしょうか。

【A】小学校低学年の頃は、何事においても興味関心が高く、好奇心旺盛な時期です。「落ち着きのなさ」は「元気がある」とも言えます。まずは、元氣よく登校しているお子さんを認めてあげてはいかがでしょうか。

なかなか授業に集中できず、「どうかしたい。周りの子に迷惑をかけないで欲しい。」と思われるお気持ち、お察しします。物事に集中できる時間は、お子さんの成長とともに少しずつ増えていくのですが、なかには、身の回りにあるさまざまな刺激で、集中することが苦手なお子さんもいます。そこで、次のように、お子さんに接してみてもはいかがでしょうか。

①落ち着いた環境をつくる

テレビの音や人の声、周りにあるおもちゃなどが

が刺激になってしまい、集中力を欠いてしまうことがあります。また、兄弟が遊んでいると一緒に遊びたくなってしまいます。家庭でも、集中できるような環境をつくっていくようにしましょう。勉強の時はテレビを消す、必要のないものは片付ける、兄弟そろって勉強をするなど、ちよつとした配慮でお子さんに変化してくるかもしれません。また、勉強の時間と遊びの時間をしっかりと区別するなど、メリハリをつけることも大切です。

②自信がもてるようにする

お子さんが集中できないことで、つい叱ってしまふことが多くなつていませんか。「短時間でも集中できた」「苦手なことにチャレンジできた」「約束していたことができた」など、ちよつとしたことでもたくさんお子さんを褒めてください。お子さんも褒められることで、「やればできる」といった自信をもてるようになり、次のチャレンジへの意欲にもつながります。お子さんの自ら成長する気持ちを大事にしてあげてください。

もしも、集中することがきわめて難しく、学習や生活に支障をきたす状態が続くようでしたら、川越市立教育センター分室（リベール）等にご相談ください。

教育センター分室（リベール）

面接相談（予約制）：TEL 234-83333

電話相談：TEL 234-83335

育英資金 ～借り入れ申し込み案内～

問い合わせ…教育総務課総務担当 TEL 224-6074

来年4月から高等学校・中等教育学校（後期課程に限る）・高等専門学校・短期大学・大学・専修学校に進学する方または在学中の方で、経済的に学資金などの支出が困難な方に、無利子で資金をお貸しします。

対象（次の要件をすべて満たす方）…①市内に引き続き6か月以上在住している②経済的理由で、学資金や入学準備金の支出が困難である③心身健全で、かつ学業成績が良好である

償還期間…貸付期間の2倍（据え置き期間＝卒業後6か月）

提出書類…①学資金・入学準備金借入申請書②校長の推薦書③成績証明書④健康診断書⑤住民票（家族全員のもの）⑥合格通知の写し⑦保護者全員の平成27年分源泉徴収票または確定申告書控えの写し

* ①②の用紙は、教育総務課・市立中学校に用意してあります。市のホームページからもダウンロードできます。（ホームページ＝<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>）

* ⑥は、申込期間後の提出も可能です。

申し込み…平成28年2月1日（月）～3月2日（水）（厳守）に教育総務課（市役所東庁舎2階）へ直接持参

区分	貸付額		
学資金（月額）	高等学校 中等教育学校 （後期課程に限る） 専修学校	国公立	13,000円
		私立	20,000円
	高等専門学校		16,000円
	大学（短期大学含む）		30,000円
入学準備金	高等学校 中等教育学校 （後期課程に限る） 専修学校	国公立	150,000円
		私立	280,000円
	高等専門学校		160,000円
	大学（短期大学含む）		360,000円

* 貸付決定にあたっては、審査があります。申請された方全員に貸し付けが決定されるとは限りません。

11月～1月に子どもが参加できる各種講座

講座名	日時・申し込み等	中学生	問い合わせ
クリスマスおはなし会	12月16日 15時30分～		中央図書館 TEL222-0559
手話でたのしむおはなし会	12月19日、12月20日 15時30分～		
クリスマスおはなし会	12月18日 ①11時～②15時30分～		西図書館 TEL237-5660
初笑いおはなし会	1月9日 14時～16時		
にちようおはようおはなし会	毎週日曜日 11時～		
あきのとっておきおはなし会	11月8日 11時～		川越駅東口図書館 TEL228-7712
クリスマスおはなし会	12月18日 15時30分～		
どようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～		
クリスマスおはなし会	12月17日 15時30分～		高階図書館 TEL238-7550
ふゆのどようスペシャルおはなし会	1月30日 14時30分～		
子ども体験教室 「花を遊ぶーいけ花体験ー」	11月21日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み=11月4日、9時から電話またはファクス (定員各回20人)	○	
子ども体験教室 「お正月飾りを作ろう」	12月12日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み=12月2日、9時から電話またはファクス (定員各回20人)	○	
子ども体験教室 「ミニ掛け軸作り」	12月19日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み=12月3日、9時から電話またはファクス (定員各回20人)	○	博物館 TEL222-5399 FAX222-5396
子ども体験教室 「まゆ玉飾りを作ろう」	1月9日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み=12月4日、9時から電話またはファクス (定員各回15人)	○	
子ども体験教室 「土笛・土鈴作り」	1月16日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み=1月6日、9時から電話またはファクス (定員各回30人)	○	
DIYこども工作教室	12月19日 14時～16時 申し込み=12月4日必着で往復ハガキ、市HPより電子申請 またはファクス		北公民館 TEL222-1400 FAX229-1210
子ども卓球広場	11月7日、12月5日、1月9日 13時30分～15時30分		高階南公民館 TEL245-3581
子ども囲碁将棋広場	11月21日、12月19日、1月16日 9時～11時		
冬休み子ども映画会	12月25日、12月26日 10時30分～12時		大東南公民館 TEL242-0498
川越市生涯スポーツ フェスティバル	11月3日 8時30分～15時10分 会場=川越運動公園 ふれあいコーナー 9時30分～、体力測定 12時～	○	
川越市民駅伝競走大会	12月20日(予備日12月23日) 会場=川越運動公園 申し込み=12月4日まで、スポーツ振興課窓口へ 参加費 5人1チーム 1,500円	○	スポーツ振興課 TEL224-6094
子どもサポートコンクール 「小江戸見つけ隊」入賞作品展示会	①1月23日 10時30分～17時 ②1月24日 10時30分～15時 会場=ウェスタ川越1階南公民館	○	地域教育支援課 TEL224-6086

※日時・申し込み方法等は、変更になる場合があります。詳細につきましては、お手数ですが各施設へお尋ねください。

※□の講座は、事前に申し込みが必要です(他は当日直接参加)。また、特に記載がない場合、会場は問い合わせ先の施設です。

※「中学生」の欄に○がついている教室は、中学生にもお勧めの講座です。

～11月は「いじめ撲滅強調月間」です～

埼玉県は、11月を「いじめ撲滅強調月間」と定め、いじめの根絶に集中的に取り組んでいます。いじめに遭ったり、気が付いたりしたら、一人で悩まずご相談ください。

電話相談窓口

○県の電話相談窓口(24時間365日対応)

子ども専用(18歳以下) 0120-86-3192

保護者専用 048-556-0874

Eメール相談 soudan@spec.ed.jp

いじめメール相談フォーム(右のコードから入れます)

○川越市いじめ相談直通電話 049-236-1818

(月～金 午前8:30～午後5:30 土・日・祝日 午前9時～正午)

カメラ付き携帯電話で読み取るとつながるよ。



2次元コード



いじめメール相談フォーム

誰から、どのような「いじめ」を受けていますか

- 冷やかしかからかい、悪口やおどし文句など嫌なことを言われる。
- 仲間はずれ、無視される。
- 暴力をふるわれる。
- お金や物を要求される。
- 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- パソコンや携帯電話で、悪口やうそを書かれたり、嫌なことをされる。

ひと、ホット、ほっと! がんばる



子どもサポート委員会!

楽しい活動から学びのこと

福原地区子どもサポート委員会

福原地区子どもサポート委員会では、子どもたちが地域社会とふれあいながら、社会性を育んでいくために、毎月第一、第三水曜日に福原小・中学校の正門前であいさつ・声かけ運動を行っています。

初めは恥ずかしがっていた子どもたちも、回を重ねるごとに元気なあいさつができるようになってきました。

子どもたちの元気な声を聞き、サポート委員さんも一日の元気をもらっているようです。

また、例年十月の川越まつりでは、山車ひき体験も実施しています。子どもたちが力を合わせて一台の山車を曳きまわします。楽しく活動ができるほか、地域の大人たちに見守られながら、礼儀やきまりを学ぶ機会にもなっています。



力を合わせての山車ひき体験



雨のなかでも行います



みんな元気にあいさつ!



地域の皆さんが参加します

豊かな体験で豊かな心に

名細地区子どもサポート委員会

名細地区子どもサポート委員会では、二つのさつま芋生育体験を行っています。

一つ目は、鯨井自治会と育成会の協力で、鯨井地区内の児童がさつま芋の植付・収穫を行う体験です。子どもたちは慣れない手つきでさつま芋の苗を一生懸命に植え付けていました。

二つ目は、名細地区内の子どもたちが社会福祉施設「げやきの郷」の協力でやっている自然体験です。さつま芋だけではなく、ジャガイモの収穫体験や、ブルーベリーの実を摘んで、その場で食べる体験もできました。

昨年の芋ほりでは、大小さまざまなさつま芋に大歓声が上がりにぎやかな収穫となりました。今年も間もなく収穫の日を迎えます。今から子どもたちの歓声が聞こえてくるようです。



収穫の秋、芋ほりを楽しみます



除草作業も行います



みんなでブルーベリーを収穫!



いよいよさつま芋の植付です

給食で使用する自慢の川越産!!

～川越産野菜の紹介～



さつま芋

毎年11月の給食には、じゃが芋ではなく川越産のさつま芋を使ったカレーが登場します。

さつま芋は、安土桃山時代から中国から日本の沖縄や九州へ伝えられました。その後、江戸時代に入り、徳川8代目将軍吉宗の代になると日本各地に広まってきました。中でも、川越産のさつま芋は「おいしくて、最高!」と評判が良く、この頃から川越はさつま芋のイメージがとて強くなったそうです。川越市のマスコットキャラクター「ときも」もさつま芋がモチーフになっています。

さつま芋には体を動かす力になる炭水化物、おなかの掃除をしてくれる食物繊維、かぜをひきにくくするビタミンCなどいろいろな栄養が含まれます。

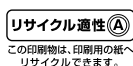
11月上旬まで市内の中台や南大塚で「芋ほり体験」ができます。この秋は川越産のさつま芋を使って、いつもとは違ったカレーを作ってみてはいかがでしょうか。



▲さつま芋のカレー「小江戸カレー」

市教委だよりNo.106 発行/川越市教育委員会教育総務課 TEL(224)6074(直通)

この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に基づき基本方針の判断を満たす紙を使用しています。



市教委だよりは再生紙および大豆油インクを使用しています

